

令和 2年度

「中国地方観光振興アワード」受賞者の決定！

中国運輸局では、観光振興等に功績が顕著な団体又は個人等を表彰する「中国地方観光振興アワード」制度を設けており、令和2年度は下表の方々の受賞が決定しましたのでお知らせします。

なお、表彰状の授与については、下表のとおり執り行うこととしており、受賞者の功績の概要については、別紙のとおりです。

「中国地方観光振興アワード」とは、

1. 観光イメージの形成
2. 観光振興への新しいアイディアを創出
3. 観光振興に資する人材の育成
4. 観光資源の発掘、保全
5. その他観光の振興に特に貢献したと認められること

上記の要件に特に貢献された方々の功績を顕彰することにより、今後の中国地方の観光の活性化や観光振興につながることを期待するものです。

■ 受賞者

(敬称略)

名 称	住 所	授与日時 場 所
<small>おおせきだん</small> 防府天満宮 大石段 花回廊実行委員会	山口県 防府市	令和3年3月3日(水) 13:30～ 防府天満宮 芳松庵
日生カキオコまちづくりの会	岡山県 備前市	令和3年3月19日(金) 14:00～ 備前東商工会本部 (備前市日生町寒河 2570-31)

【 問い合わせ先 】

中国運輸局 観光部

にしむら さちのり

担当 : 西村 幸徳

電話 : 082-228-8701 FAX : 082-228-9412

■ 受賞者の功績の概要

名 称	功 績 の 概 要
<p style="text-align: center;">防府天満宮</p> <p style="text-align: center;">おおせきだん 大石段 花回廊 実行委員会</p>	<p>「防府天満宮大石段花回廊実行委員会」は平成 25 年から 5 月の大型連休中に、防府市の観光資源である「防府天満宮」の大石段に約 800 鉢のプランターで文字や絵を描き、訪れる観光客への「おもてなし」は春の観光シンボルとなった。マスメディアやSNS等で紹介され、認知度が高まり、このモザイク画を見るために多くの観光客が訪れ賑わっている。この取り組みは、「防府商工会議所」が全体の調整役となり、花の育苗を「山口県立農業大学校」、その後の育成は「4 つの中学校と山口県立防府総合支援学校」、花鉢の設置デザインは「山口大学美術系学生」、花鉢の輸送は「造園業組合」、花鉢の配置は「市役所・観光コンベンション協会」、展示中の花の管理は「地元高校生」、設置期間中の撮影は「地域のボランティアカメラマン」が行うなど多くの団体が関わり、イベントの実施に伴うスタッフ動員数は100名程度となっている。このように「防府天満宮大石段花回廊実行委員会」は、地域の様々な団体が連携を深め観光に携わる人的ネットワークの拡大を図りながら観光振興に取り組んでいる。</p> <p>[参考]</p> <p>和暦が「平成」から「令和」に替わる4～5月の防府天満宮への参拝客が活動初年度の平成 25 年と比較すると約 34%増、前年比では 53%増となった。(防府天満宮発表)</p>
<p style="text-align: center;">日生カキオコ まちづくりの会</p>	<p>カキオコは、昭和 40 年代に瀬戸内の漁師町・備前市日生町で商品として出荷できないカキを漁師がお好み焼に入れて食べたのが始まりとされている。平成 14 年に当会の前身の「日生カキお好み焼き研究会」がボランティアでマップを作成して情報発信したことがきっかけで、マスメディアに取り上げられ、注目されるようになった。こうしたカキオコの魅力をまちづくりに活かすために、平成 23 年に「日生カキお好み焼き研究会」を改組し商工会、観光協会、お好み焼き店等で連携する組織として「日生カキオコまちづくりの会」とした。これまでに、「B-1 グランプリ」「おかやまマラソン」「備前焼まつり」等に出展しカキオコの魅力を県内外への発信や、岡山県内の他のご当地グルメと連携して PR 活動を行っている。このような活動により「日生カキオコ」は岡山県を代表するご当地グルメとなり、備前市日生町（人口約 6,800 人）に年間約 50 万人の観光客が訪れている。このほかにも、カキのオフシーズンには「ヒナセノミーノ」というイベントの開催や、新メニューの開発（日生海のそば（海鮮焼きそば））を通じて、新たな魅力づくりにも取り組んでいる。また、「日生カキオコまちづくりの会」の取組がきっかけとなって、岡山県内各地にご当地グルメによるまちづくりが広がり、各地の観光振興に貢献し「地域に根付いた食文化」をテーマとした観光振興に取り組んでいる。</p>